

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

英雄交響曲 すべてはここから始まった

価値観の大転換！
音楽の歴史に革命をもたらした
ベートーヴェンの記念碑的作品

飽くなき美を追求するスロヴァキアの鬼才

ユライ・ヴァルチュハ

首席客演指揮者

JURAJ VALČUHA, Conductor

R. シュトラウス：メタモルフォーゼン

R. STRAUSS: Metamorphosen

ベートーヴェン：
交響曲第3番 変ホ長調 作品55 「英雄」

BEETHOVEN: Symphony No. 3 in E flat major, op. 55 "Eroica"

東京オペラシティ
コンサートホール

Tokyo Opera City Concert Hall

読売日本交響楽団
第280回 土曜マチネーシリーズ

2025 8/23(土) 14:00

S ¥8,800 A ¥6,600
B ¥5,500 C ¥5,000

YNSO Saturday Matinée Series No. 280
Sat. 23 Aug. 2025 14:00

読売日本交響楽団
第280回 日曜マチネーシリーズ

2025 8/24(日) 14:00

S ¥8,800 A ¥6,600
B ¥5,500 C ¥5,000

YNSO Sunday Matinée Series No. 280
Sun. 24 Aug. 2025 14:00

読響チケットセンター

0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

〈主催〉

読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、
読売日本交響楽団

〈助成〉

文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会

鬼才ヴァルチュハ、 二つの名曲で本領発揮へ。 ベートーヴェン「英雄」の神髄に迫る！

首席客演指揮者

ユライ・ヴァルチュハ

2024年4月から読響の首席客演指揮者を務めるスロヴァキアの鬼才。ブラチスラヴァで作曲と指揮を学んだ後、サンクトペテルブルクとパリで学び、ムーシンらに師事。フランス国立管デビューを皮切りに欧米で活躍中。これまで、イタリアのRAI国立響の首席指揮者、ナポリ・サンカルロ劇場の音楽監督、ベルリン・コンツェルトハウス管の首席客演指揮者などを歴任。現在、ヒューストン響の音楽監督の任にある。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ドレスデン国立歌劇場管、ニューヨーク・フィル、ウィーン響、ミュンヘン・フィル、シカゴ響など一流楽団を振り、高い評価を得ている。オペラでもベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン国立歌劇場、ボローニャ歌劇場などで活躍している。



8月の《土曜・日曜マチネーシリーズ》には、欧米で活躍している首席客演指揮者のユライ・ヴァルチュハが登場します。彼は、ちょっと古風な趣を持つアーティストです。現代のクラシック音楽界では、世界各地をジェット機で飛び回り、忙しく指揮活動が続けるマエストロも多いですが、ヴァルチュハはいくつかの楽団やオペラハウスに絞って、じっくりと音楽作りを続けることに重きを置いています。彼の特徴は、妥協を許さず極限まで磨きをかける音楽作りでしょう。読響とのリハーサルでも、楽団員にゆっくりとした口調で、丁寧に音のバランスなどを説明し、自らの理想へと念入りに近づけていく姿が印象的です。

今回のプログラムは、そんな彼の綿密な音楽作りが存分に発揮されるものになるでしょう。前半には、R.シュトラウスが最晩年80歳の時、1944～45年に書いた「メタモルフォーゼン」を演奏します。この第二次世界大戦末期には、ウィーン、ベルリン、ミュンヘン、ドレスデンなどの多くの都市が空爆を受け、作曲家の栄光を支えた歌劇場も破壊されました。その悲しみの中で、シュトラウスが自らの死と向き合いながら書いたもので、彼の弦楽器の書法の極致を見るような深みのある作品です。変わりゆく時代への沈痛な思いが表れていると言えるでしょう。この曲の最後には、ベートーヴェン「英雄」の第2楽章「葬送行進曲」が引用されます。ヴァルチュハと読響が誇る弦楽器奏者たちによる、緻密で研ぎ澄まされたアンサンブルにご期待ください。

後半には、「交響曲」の歴史を変えたベートーヴェンの記念碑的作品「英雄」を演奏します。この曲により「交響曲」というジャンルが芸術作品となり、クラシック音楽の中心に置かれるものとなったのです。ベートーヴェンは作曲するにあたって同時代のヒーロー、ナポレオン・ボナパルトを念頭に置いたと言われています。強烈な和音の連打で始まる冒頭、ホルンの用い方、第2楽章に「葬送行進曲」を置いたこと、リズムや和声など、当時としては画期的な要素が随所に見られます。また、この曲の巨大なスケール感は特別なものです。ヴァルチュハのタクトは、この名曲から目の覚めるような鮮烈な響きを引き出し、壮大な宇宙を生みだすでしょう。

読売日本交響楽団 第280回 土曜マチネーシリーズ

2025年 8月23日(土) 14時開演
S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

読売日本交響楽団 第280回 日曜マチネーシリーズ

2025年 8月24日(日) 14時開演
S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

東京オペラシティ コンサートホール

東京都新宿区西新宿3-20-2 Tel. 03-5353-0788

●京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ)「初台」駅東口下車
徒歩5分以内

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

※座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>